

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 5 月 12 日 (2005.5.12)

【公表番号】特表 2001-500412(P2001-500412A)
【公表日】平成 13 年 1 月 16 日 (2001.1.16)
【出願番号】特願 平 10-514194
【国際特許分類第 7 版】
A 6 3 H 33/08
【F I】
A 6 3 H 33/08 Z

【手続補正書】
【提出日】平成 16 年 9 月 15 日 (2004.9.15)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手続補正書

平成16年 9月15日

特許庁長官 殿



1. 事件の表示 平成10年特許願第514194号

2. 補正をする者

住 所 デンマーク. デーケー - 7190 ビランド,
アッストヴェユ 1

名 称 レゴ エー/エス

3. 代 理 人

〒100-0005

住 所 東京都千代田区丸の内3-2-3. 富士ビル602号室
電 話 (3213) 1561 (代表)

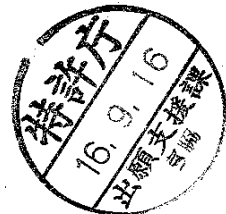
氏 名 (6444) 弁理士 岡 部 正 夫



4. 補正対象書類名 請求の範囲

5. 補正対象項目名 請求の範囲

6. 補正の内容 別紙の通り



(1)「請求の範囲」を別紙の通り訂正する。

請求の範囲

1. 互いに垂直な2つの主方向に二次元に周期的なパターンで列をなすように配置された一様な連結スタッド(10, 20)を有する第1タイプ組立要素であって、該連結スタッドは該主方向に対して対角方向に対角列をも形成し、それにより隣り合う該対角列間において0以上の幅(d)が確保されている第1タイプ組立要素と、

該第1タイプ組立要素と相互に結合し、矩形の断面の中空部を画定する二対の平行な結合壁(12, 23, 24)と摩擦により取外し可能な係合で該第1タイプ組立要素の該連結スタッド(10, 20)を受容するための結合手段(13, 25)とを有する第2タイプ結合要素(11, 21, 22)であって、該平行な結合壁は該結合スタッドの列間の主方向に配置され、該結合壁は2つの第2タイプの結合要素の各々の一の結合壁を同時に隣り合う該連結スタッド間に入れることができる厚さを有する第2タイプ結合要素(11, 21, 22)と、

該第1タイプ組立要素上の少なくとも2つの結合スタッドを受容するための矩形断面を有する中空部を画定する二対の平行な結合壁を有する第3タイプ組立要素(40, 50, 60a, 60b, 61a, 61b, 62a, 62b)であって、該第3タイプ組立要素の結合壁(42, 52)は結合スタッド(10, 20)の対角列間に該対角方向に配置され(40, 50, 60a, 60b, 61a, 61b, 62a, 62b)、隣り合う対角列間の幅(d)に対応した厚さを有する該第3タイプ組立要素とを備えることを特徴とする玩具組立てセット。

2. 請求項1に記載の組立要素であって、該第3タイプ組立要素は、該第3タイプ組立て要素の結合壁を超えて延在する外郭壁(51)を有することを特徴とする組立玩具セット。

3. 請求項2に記載の組立玩具セットであって、該外郭壁(51)は、第1タイプ組立要素と該第3タイプ組立要素が結合された状態において、主方向に配列されていることを特徴とする組立玩具セット。